



小型カメラレンズ用樹脂として最高の屈折率を誇る
特殊ポリカーボネート「ユピゼータ®EP-9000」の販売を開始

 三菱ガス化学株式会社

2018年4月5日

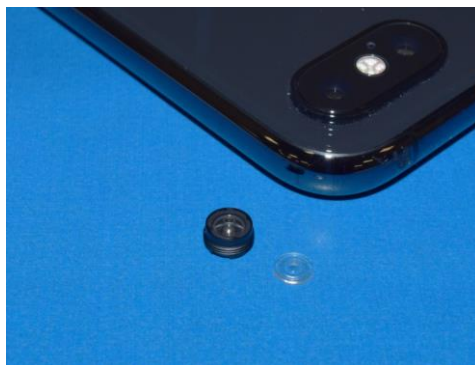
三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：倉井 敏磨、以下「当社」）は、小型カメラレンズ用樹脂として最高の屈折率 1.67 を有する特殊ポリカーボネート「ユピゼータ®EP」シリーズの最新グレード、「ユピゼータ®EP-9000」の販売を開始しましたので、お知らせいたします。

スマートフォンやタブレット等に搭載されるカメラレンズ材料には、高屈折率（レンズの薄型化に寄与）と低複屈折性（画像の鮮明化に寄与）を兼ね備えた材料が必要です。当社の特殊ポリカーボネート「ユピゼータ®EP」はこれらを高い次元で両立し、さらに成形性も兼ね備えた光学材料で、特にスマートフォンにおいては、その薄型化に大きく寄与する欠かせない材料となっています。

産業界からも高く評価されており、2017年には公益財団法人新技術開発財団の「市村産業賞 本賞」を基礎原料や誘導品を製造する化学メーカーとして初めて受賞しました。

屈折率および成形性をさらに向上させた「ユピゼータ®EP-9000」は、カメラレンズのさらなる薄型化と精密成形を可能としており、高機能デュアルカメラを搭載した最新のスマートフォンに最適な材料です。

当社は、「ユピゼータ®EP-9000」の拡販を通じ、今後進むべき事業領域の一つに定める“情報・通信”領域のさらなる事業展開を進めてまいります。



特殊ポリカーボネート「ユピゼータ®EP」を用いたスマートフォン

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

広報IR部 TEL : 03-3283-5041